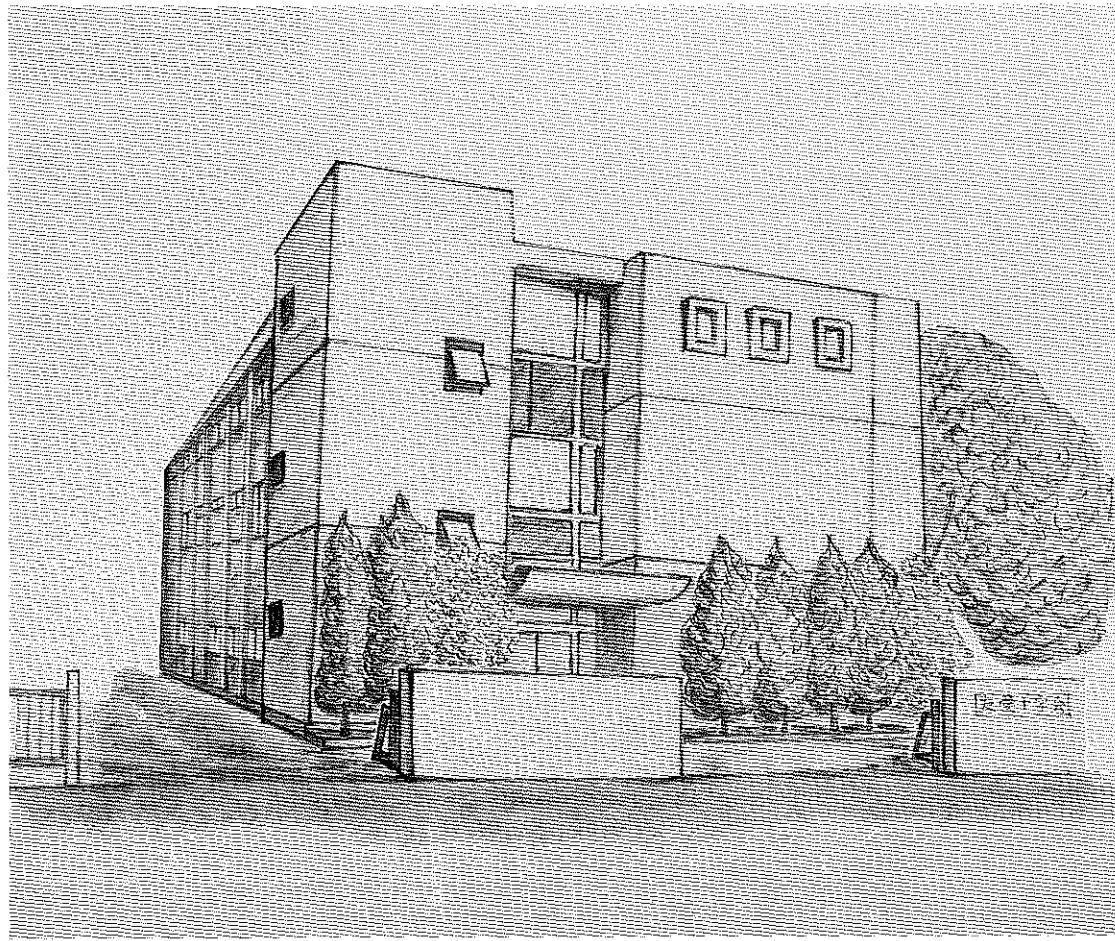


社会福祉法人 友愛十字会

ゆうあい

1985
6・30
No. 2

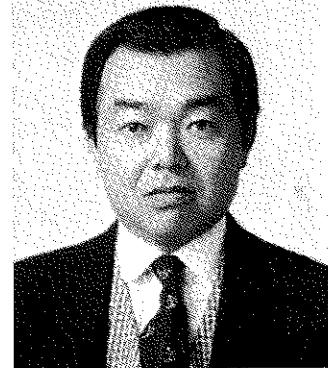
題字 前総裁 三笠宮崇仁親王殿下



世田谷更生館 本館

主な記事

- 第2号に寄せて 総裁 三笠宮寛仁親王殿下
- 友愛十字会小史
- コックをもう一度 世田谷更生館
- 開設20周年記念事業に着手 東京都ろうあ者更生寮
- 10周年を迎えた友愛荘
- 写真グラビア



第一号に寄せて

社会福祉法人 友愛十字会

総裁 寛仁親王

私は今、志賀高原の熊の湯に来ている。弟がトレーニングと静養を兼ねて行きたいというので、我々のホームグラウンドであるここに来たわけである。熊の湯に初めてスキーの為に来たのが実に三十一年前（初等科四年生）であるから、友愛十字会創立の数年後であり、父親が名誉賛助員から総裁になつて間もない頃である。この三十一年間イコール私のスキー史であり、そのうち約半分の十五年間が、本格的に私が福祉に取り組んでいる年数となる。スキーと福祉は色々な意味において相乗効果をもたらしつつ今に至っているが、スキー始めた動機というのは、身体の弱かつた私を、スキーや登山という大自燃相手のスポーツ環境にほおり込めばいいのではないかと母親が発想した事が原点である。結果的にいえれば、母親の当時の想像をはるかに越えて、スキーを通じて、体力は人一倍となり、技術に至つてはこれを商売にするようになつたのだから驚く他はない。この間、我が家においては、「お父様は友愛十字会へ行かれただ！」とか「お母様は母子愛育会の大会へ……」といつたたぐいの会話が、度々子供の私の耳に飛び込んで来ていたし、小さいながらも地方に行くと各種施設の視察というのがあつたりした。スキーにおいても、現在私の身体障害者スキー指導の片

腕たる、北海道の山岳界とスキー界の大御所・速水先生との出会いがあり、この先生が片腕の障害があるにもかかわらず、健常者の中でも人一倍猛者でなる我々山屋・スキー屋のリーダーであつた事etcが、私を割りとすんなり福祉の仕事にとけ込ませた理由であると思う。このような体験を持つ私が現在期待しているのは、我家の二人の子供達が、ゼロ歳の頃から、家の内外を問わず、障害を持つ（それも千差万別の）人々に日常生活の中で、特別な事としてではなく普通に出合い、当初は少々違和感があつたようだが、今では極く普通につき合つたり遊んだりしている事や、十二～十三年前から本格的に指導を始めたハンディスキー隊を、北海道に住む義理の兄夫婦の三人の子供達が、道内各地で開催される私主催のスキー大会に参加するたびに、少々の誤解を乗り越えながら彼等とのつき合いを深め、今では平気で、C.P.・ボリオ・視覚障害・切断etcのハンディスキー隊の存在を理解している事などの今後の進展具合を見る事である。別の云い方をするならば、長い間友愛十字会の総裁であった父親の障害者との出会いの時の意識よりは、前述した通りの私の出会いの方がすんなりいつたと思う。が、私の子供達や義理の兄の子供達が、明確に障害を持つ人々の問題に直面する時期が来た時、或いは全体の福祉を考える時が来た時、彼等が小さい頃からその実態を幼児体験として知つており、普通につき合ってきた事実は、父や私が福祉に初めてかかわった時より確実に素直に、かつ正しい思いやりでそれらを見つめる事が出来るであろうと思うからである。このような輪が日本中の私達の世代に広がれば、次の世代の福祉問題というものは、今よりも前に前向きなものとなり、差別や区別などする必要もなくなり、文字通り完全参加と平等がなされる世の中になるであろう。

友愛十字會 小史

「ゆうあい」再刊第一号には、本会の事業の概要を紹介しましたが、本号には、本会の創立の経緯から今日に至る歴史をご紹介することにしました。

○創設までの歴史

世紀の大戦といわれた第二次世界大戦は、戦後四十年を経た今日では、すでに昭和の歴史の中にあります。が、本会の創立は、その敗戦による戦後の混乱期の一時期、社会問題の一つに数えられたいわゆる白衣の募金と深い関わりがあります。

當時これらの人々は、敗戦によつて傷痍軍人としての特權のすべてがはく奪されて、療養にも専念できない状況にあつたため、多くの人々は、生きていくために白衣のまま街頭などで墓金をしたのです。

たまたまこのような事実を知ったハワイ在留邦人の親睦団体であつた東部同志会（代表須田文吉氏）と、パラマ更生会の有志の方々が、同胞愛からこれらの人々の更生を援助したいと、

常務理事 草原国

自から汗して得
た尊い淨財を本
土に送つてきた
のです。これを受

（表）は、寄付目的を最大限に生かすためにこの寄付金を基金として、傷痍軍人を含む身体障害者の更生援助を行う団体の設立を決定し、身体障害者福祉法が施行された昭和二十五年に厚生大臣の設立許可を得て、財団法人友愛十字会（昭和二十七年に社会福祉法人へ組織を変更）が誕生したのです。

○創業期の事業

本会が発足した当時は、未だ占領下にあつたので、本会に対しても國や地方公共団体からの補助金等は全くなく、自力で身体障害者に対する

福祉活動に取り組むことになつたわけです。従つて、設立後も何度も何度となくハワイ支部（本会設立後、一団体は本会の支部となる）からの援助を受け、また篤志家の寄付金をもとに設立当初の趣旨にそつた福祉活動を行つたのです。

以下 年代順に活動状況を列挙しますと 本会発足の昭和二十五年には、台東区北松山町の本会事務所内に、(一)「身体障害者更生相談所」と、その二階に、(二)身体障害者用宿舎「南薰寮」

創立当時の友愛十字会



(八世帯)を開設したのを始め、同年十二月には、(三)厚生省内に身障福祉法二十二条に基づく専門店「友愛書房」を開設し、翌二十六年には、

四厚生省を始め、東京都、日本赤十字社及び鉄道弘済会と共に「身体障害者福祉展」(昭和五十年二月、社会福祉記念館)で開催されるまで二十一年。

（三回実施）を開催し、次いで同年、世田谷区研究の現在地に、（五）生活保護法の更生施設「大藏寮」（現在は、身障者用宿舎「友・愛・寮」となつている）を開設したほか、同年中に友愛書房に続きる）

(六) 国立第一病院内ほか三所に売店を開設して、身体障害者の職場を拡げてゆくと共に、同年以降、国立療養所等の患者の自立更生を図ることを目的として、(七)「箱根、大蔵、伊東などの国立施設二カ所に授産場を併設」して、そ

は、(八)厚生大臣の指定を受けて、「身体障害者

卷之三

製作品販売あつ旋事業を開設するなど、本会は、その時代の要請に応える事業を行い、その目的を達成した段階でその事業を終えてきました。(注)現在も引き続き継続している事業には、点線を打っている)

また、この間、本会の設立の趣旨に深いご理解を賜わりました三笠宮崇仁親王殿下を、本会発足の翌昭和二十六年に名誉賛助員に、二十八年十一月に総裁にご推戴申し上げ、本会の発展にお力添えを賜わりました。昭和四十九年には、

同殿下の思召しにより、寛仁親王殿下に総裁を

バトンタッチされ、以後同殿下より種々ご教示を賜わり今日に至っております。本会にとって誠に光栄なことであり、誇りとするところであります。

○事業の展開期

更・寮」(板橋区志村)を東京都から経営の委託を受け、今日に至っております。四十二年から、(三)「三笠宮杯争奪チャリティボウリング大会」(現在は「宮様ボウリング大会」と名称を変更、今年は第十九回大会の予定)を開催しております。四十五年に、(四)社会福祉事業法に基づく収益事業を行う施設として「事業部」を港区西新橋に開設し、翌四十九年に、(五)特別養護老人ホーム「友愛荘」を都下町田市岡町に開設しました。五十年から総裁寛仁親王殿下のご発意により、日本チャリティ協会及びニッポン放送と

共催で、殿下御自ら企画し、審査委員長を努められる、(六)「全国心身障害者芸能コンクール(愛・ステージ)」(本年は第十一回)と、同じその年、殿下からのご示唆により始まった、(七)「合同運動会」は、地元を中心八団体が参加して毎年盛大に行われています(今回は第十一回)。次いで五十三年には、(八)重度身体障害者授産施設「友愛園」を、世田谷更生館と同じ本部所在地に開設して今日に至っております。

○今後について

本会は、設立当初の目的が身体障害者の社会復帰の促進にあったので、今後においても身体障害者の更生援護を中心事業の展開を図つていくことを基本姿勢としておりますが、同時に、高齢化社会の到来による時代が要請する老人福祉などについても、積極的に取り組み、巾広い福祉活動を行っていく所存です。

昭和三十一年に、(九)生活保護法に基づく養老施設「友愛ホーム」(現在は老人福祉法による養護老人ホーム)を世田谷砧の現在地に設置した機会に、法人本部をこの地に移し、ここを中心にして事業の展開を図ることになりました。昭和三十七年に、(十)身体障害者授産施設「世田谷更生館」を世田谷の本部所在地に、次いで三十八年には、(一)港区港南の地に同じく「芝浦更生館」(四十七年に世田谷更生館に統合)を開設し、四十年に、(三)ろうあ者更生施設「東京都ろうあ者



第20回身体障害者福祉展
(昭46.4友愛十字会展示即売会場)



コツクをもう一度！

世田谷更生館

許は持つていて
も、求人募集は
そのほとんどが
短時間で何百食

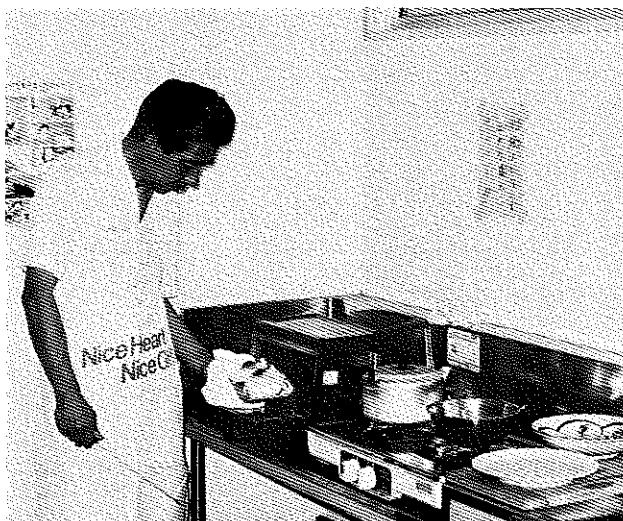
も作るようなど
ころが多く、小

世田谷更生館に入所している小畠輝雄さんは、六年前に脳血栓で倒れ、言語障害と軽い四肢機能障害になつたが、それまでは、一流レストランのコックとして、思う存分腕をふるっていた。その経歴を一寸紹介してみると、オリンピック製菓を振り出しに、日本航空ホテル、ベネズエラ、アイルランド各日本大使館、オレゴン州ポートランドの日本総領事館、そして、あの鴨料理で有名なパリの高級レストラン、トルール・ダルジャンでも修業している申し分のないものであるが、その後、世田谷更生館では、包丁を持つ手にドライバーを持ち換えて、同じ授産作業科の同僚十六名の人達と一緒に、ステップラーやサーモスタッフの組立て作業に懸命の努力をしている。しかし、やはり好きな料理への思いは絶ち難く、昨年の五月から一ヶ月あまり就職を前提として炭焼きステーキの店で実習をしたが、接客しながら料理する店だったため、顧客との意志の疎通に難点があつたのと、受障後、日も浅く体力がついていなかつたこともあり成功しなかつた。そこでこの一年、朝夕のジョギングと、授産作業の一層の努力をした結果、動作も早くなり、体力もついて來たので、満を持して就職運動を再開したが、調理師の免

畠さんが本来希望している、美味しいものをじっくりと作ることからかけ離れており、思うよう見つからない。そのやる方なき思いを、毎日昼休みにオーブントースター一台で、かきのコキール、鮑のグラタン、羊のボルシチ等を作つて自ら心を慰めているが、自慢のゾーリングの包丁も今一つ切れ味が悪いようである。みんな、心あたりがあつたらどうぞ宜敷く願います。

（俳句）
梅雨めいて紫陽花嬉し淡き色
世田谷更生館 友愛園 長谷川ヤエ
彼岸花昔を想う馬鹿親父
城跡の土手染めあげし彼岸花
肌寒の背をまるめて花見かな
世田谷更生館 黒野 敏
梅雨続き絵手紙さえも湿りけり
久方の友を見つけし初詣で
友愛園 宗像洋子
手をとりし女うなじの白く
友愛園 宗像洋子

利用者の作品



（短歌）

栗めしにふるさと遠く幼き日
おふくろの味舌にもどりて
凍る道とまどうわれにかけ寄りて
手をとりし女うなじの白く

開設二十周年記念事業に着手！

東京都ろうあ者更生寮

更生寮が開設されて、今年の七月で満二十周年を迎えます。二十年を一つの節目として「この二十年間に更生寮を利用した寮生が現在どのような生活をしているか」「更生寮で受けた訓練が今の生活に役立っているか」のアンケート調査と、更生寮が行なつてている更生訓練の内容を16mm映画化するという二つの記念事業を実施することになりました。この記念事業は、更生寮の事業運営の成果の集約と、今後の更生寮の在り方のためにまた、更生訓練の具体的な内容を外部の皆さんに理解していただきための貴重な資料となるようにしたいと考えています。

○修了生現状把握実態調査

二十年間の利用者は、三六三名に達し現在は、北は北海道から南は鹿児島県まで全国に散つて生活しています。今回の実態調査はその全ケースを対象として、まず今何處に住んでいるかの現住所を確認する調査を、昭和五十九年十一月から五ヶ月かけて行いました。その調査結果は、再入所による重複ケースが、三三件、死亡され

たことが判ったケース十六件、

未確認で調査続行しているケースが十二件、住所が判明し

アンケート調査に入れるケースが三〇二件になりました。

アンケート調査の調査項目

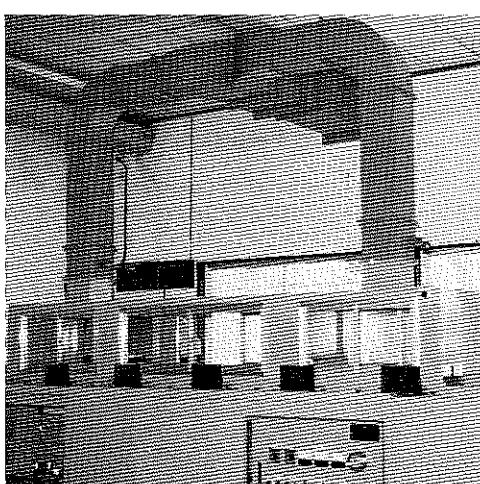
は、回答能力の低い人に標準をあわせて一二項目に絞り、調査用紙には、イラストを多く入れて判り易いものにしました。

いよいよ本年五月から、調査票の発送、家族、福祉事務所等の関係者への調査依頼、訪問面接調査の二つの方法で本格的実態調査に入りました。

○記録映画16mmの作成

更生寮における更生訓練の実態は意外に知られていないのが現状です。更生訓練の現状と問題点を提起し、更生施設の存在意義と聴覚障害者の抱える問題を周知して解決をはかるために、記録映画を作成することにしました。

そのテーマは、「施設の役割と施設利用者の自立問題を考えいく。」で、ストーリーは、「更生寮に入所する利用者に焦点をあて寮内における更生訓練、生活の様子、また、寮から通う事業所での姿を通じ地域社会の中で自立していく過程を追っていく」ものです。



プリント基板用自動半田槽

全労済より 授産作業用自動半田槽の 寄贈を受ける

世田谷更生館及び友愛園では、授産事業のメインとして通信機器部品の加工、組立作業を安立電気株式会社から受注していましたが、設備の不足等から作業の一部分を受注するにとどまっていました。ところが、昨年に続き、全国労働者共済生活協同組合連合会（全労済。藤原久理事長）から、プリント基板用自動半田槽購入費として四百万円の寄贈を受けました。現在、職業指導員一名が受注のための技術習得研修を受けていますが、これでプリント基板の一貫作業が可能となり、生産性の向上に伴う受注量及び工賃の増が図られます。

全労済の皆様に心から感謝申し上げます。

クス

な十周年記念式を挙行しました。

十周年を迎えた友愛荘



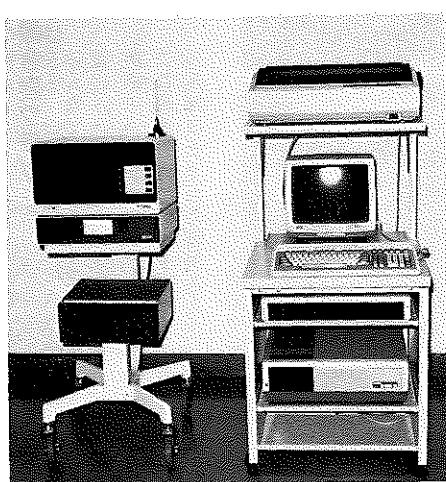
「十年ひと昔」よく耳にする言葉ですが昭和四十九年、友愛荘が南多摩丘陵台地の南斜面に誕生して丁度十年が過ぎました。プロ野球の選手なら、十年選手はベテランの域に入るところですが、これと誇り得るモニュメントがないのは残念です。しかし十年の足跡を振り返ることに意義があり、昨年十一月一日、ささやか

ンティアの方々などを招きして、感謝状の贈呈と永年勤続職員の表彰を行いました。このあと東京紀尾井町ライオンズクラブ、東京関東ライオネスクラブ提供の昼食会。午後は国際民族舞踊団の歌と踊りが披露され、続いて入所者と来賓によるカラオケ演芸大会に移り賑かに幕を閉じました。

職員一同は、これを契機として気分も新たに、来るべき二十年に向って、利用者待遇の充実向上を誓いました。

言うまでもなく高齢社会における老人ホームが家庭の延長としての役割を十分に果たすには、何と言つても住環境を高めながら、快適な生活が送れるよう配慮することが必要です。十年を機会に娯楽室や談話室などの改修整備を行いました。部屋の壁を塗り直し家庭的な雰囲気をもつたデラックスな家具調度据えたところ、「ゆったりとした気分で……素晴らしい」と、老人たちの笑顔にホッとしています。

環境の整備も大切ですが、日常の温かい心のこもった老人待遇によって、そこに積み重ねられた施設への安心感と信頼感こそが、高齢社会における施設処遇の基本となるもので、それが将来の私どものモニュメントにつながるものと、職員一同は心のたがを締め直しています。



パソコンと医用テレメーター

トピ

三菱財團の

助成金によりIEの
本格的研究を始める

本会の身障授産施設では、入所者の職業能力を適正に評価するため、昭和五十四年よりIE（インダストリアルエンジニアリング）の一手法を職業訓練に適用してきましたが、このIEに専門家を交えて研究を推進するための三菱財團助成が決まり、同財団（田部文一郎理事長）から本会加藤理事長に八百万円の助成金が贈呈されました。

この研究は、身体障害者に適した作業方法、作業工程、作業環境及び作業能力の測定方法を研究することと、医用テレメーターによりエネルギー代謝を測定し、作業と労働疲労度の関係を究明するものです。この研究の成果は、本会の施設はもとより、他の授産施設に参考とされ、障害者の福祉向上に貢献できるものと期待されます。

友愛ホームのクラブ活動点描

●手芸クラブ

手作りの物で、身の廻りを飾ることは、
心暖まるものです。
指導は、藤蔭静照先生



●茶道クラブ

裏千家、福田寿海先生のご指導で、お手前。
静かに茶をたてていると心がなごみます。



●合奏クラブ

みんなで、奏でるハーモニーは、
美しい。
東京ミュージックボランティア協会の
ご指導を受けています。
(指揮はホームの寮母さん)



この頃思うこと

友愛ホーム

古屋いわの（80歳）

庭の美しい八重桜が音もなく散つています。

野も山も緑一色となり私共の庭も心地よく若葉の風が漂うすがすがしい今日この頃、ホームの部屋替えも無事に終りホツとして居る所です。早いもので、私も友愛ホームに入所いたしましてから早や十年の歳月が流れました。この間に、ホームの感じも大分変りました。年々に奇麗に清掃されていく庭、そして時期に適した草花の見事さ、部屋の中には暖房が入り暖かい母のふところの温かみを感じます。私達が風邪も引かずに住み良い生活ができるためのご配慮、このご恩は決して忘れてはなりません。また、食事につきましても

れる立派な先生方のご指導によるクラブ活動は実に素晴らしい、全員参加できましたら、この上なき幸せと存じます。

しかし、私は身体の具合や、その他の事情があり、やむなく参加できないのが残念でございます。

私も長い間ご指導頂いた書道をあきらめましたが心残りが致します。一年に一回の部屋替えも結構楽しいものです。部屋が変つただけで何やら新鮮な感じになり気分も新しくなるものです。皆良いお友達にも恵まれ本当に嬉しく思つています。いかに生命が伸びたとはいえ、余生短い命です。共に健康新意して一日でも長生きして楽しい毎日を送るよう心しましよう。

皆で仲良く手を取りあつて前進すことこそ、このホームが益々素晴らしい母のふところの温かみを感じます。私達が風邪も引かずに住み良い生活ができるためのご配慮、このご恩は決して忘れてはなりません。また、食事につきましても

いろいろ老人向のご馳走が並び、味付けも非常に上手で何よりの楽しみにして居ります。この立派なホームを汚さぬようにするのも私達一人一人の責任と感じます。そして、ボランティアとしてみえらつています。

晴らしいものになつてゆくものと信じております。

「私の生きがい」

町田市ボランティア弥生会

生田華子

んにはそれぞれ生まれ育った故郷があります。子供の頃から耳馴れた民謡があると思います。山形、福島、山梨、長崎、と東京にも江戸木遣りがあります。民謡は心の故郷です。

大きな声で、そしてお腹から声を出して楽しく唄えば健康にも良いし、長生きの秘訣だと思います。

ホームにも元気な方もいらっしゃいまして、九十歳を過ぎたお婆ちゃんが着物を縫つていらつしやいました。とてもお上手に縫えていた。昔、和裁の先生をしていました。お弟子さんと一緒に手足の不自由な方、目の悪い方、いろいろと障害のある方達を相手に、気を使いながら民謡を教えております。車イスの方も、杖を使っている方一年に一回の部屋替えも結構楽しいものです。部屋が変つただけで何やら新鮮な感じになり気分も新しくなるものです。皆良いお友達にも恵まれ本当に嬉しく思つてます。いかに生命が伸びたとはいえ、余生短い命です。共に健康新意して一日でも長生きして楽しい毎日を送るよう心しましよう。

た、知つてゐる唄から始めました。皆さんは頭が良くてすぐ覚えてしまいました。今では十曲位唄えるようになりました。ホームの皆さん

三昧線の佐藤先生や田中さんはじめ弥生会の皆さんにはいろいろ協力していただけて、本当に感謝いたしております。

願

い

「出会い、ふれ合い」

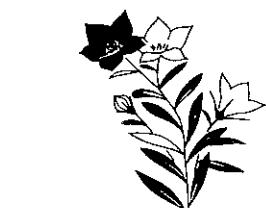
感謝いたしました。

「ふれ合い」が深まるにつれ、気
心も知れて、沢山のボーライフレン
ド? もできました。しばらくお買
物に参加なさらないと、御病気か

友愛荘
宇津木こう(92歳)弥生会
山口優子

私は昭和五十七年三月に、当友愛荘にお世話になり、三年二ヶ月たちました。ホームに来たばかりの時は、生活が変わり、何かと心淋しく思つておりましたが、職員の皆様がよくして下さるので、今日まで、ホームの生活が楽しく過ごしてこれまでました。私は歴史物の本が好きで、暇な時間が沢山ありますので、新平家物語や徳川家康等を読んで、例えは義経が苦労して兄のために尽したが認められず死んで行く事や、徳川家康という人物が、おごりたかぶらず家来を大切にし、物質を粗末にしなかつた事が今でも記憶に残っております。私もこれに習つて物を大切にし、健康で楽しく暮している今日では幸福の気持で一杯です。願わくば、今後共、元氣で長生きしたいと思います。

私は「出会い」という大切なブレゼントを頂きました。そこには、寒い日にもかかわらず、玄関で私は達を待兼ねて下さった笑顔と歓声があつたのです。それ迄の不安を吹き飛ばすような感激でございました。ボランティアの会に入れて頂いたおかげで、この方達の喜びを分けて頂けるのだ……と心から



友愛十字会主要行事

59.4.1~60.3.30

5.13 (寮)	59.4.18 花見(友愛荘)
ク 17 岳寺(友愛ホーム)	ピクニック・上野動物園・泉 社会見学・東宝撮影所(ろう あ更生寮)
ク 19 昭和五十九年度第一回役員会 レクリエーション(友愛ホーム)	ク 28 第三十四回東京都身体障害者 体育大会参加(更生館・友愛 園・ろうあ更生寮)
ク 30 地域交流ゲートボール大会(友 愛荘)	ク 29 地元交流ゲートボール大会(友 愛荘)
ク 20~22 (ろうあ更生寮)	ク 13 盆法要(友愛ホーム)
ク 24~25 修了生交流会(ろうあ更生寮)	ク 21~25 盆おどり(世田谷三施設)
ク 8~15 盆おどり(ろうあ更生寮)	ク 9~15 盆法要(友愛ホーム)
ク 27 老人施設芸能大会参加(友愛 ホーム)	ク 21~25 彼岸法要(友愛荘・友愛 ホーム)

善意のかずかず

昭和五十九年度中に、次の方々から善意の金品のご寄贈を頂き、また、利用者をご慰問下さいました。ここに心から御礼を申し上げます。

○世田谷関係

(寄付金) 敬称略 あいうえお順

○世田谷関係

あすなろ志田和晴、井上美智子、

一步の会手島よしの、小野坂豆腐店、大場房子、大宮市社協、大野

清之助、金子章子、川西英子、砧

教会教会学校、共栄会、栗山春行、

厚生車輌福祉協会、国分寺市社協、

作佐部広子、島信次、ジャパンレ

ディスボウリングクラブ須田加代

鈴木助成事業財団、但木瀧雄、竹

川幸、野の花会新田歳枝、長谷川

製本所、山下源治郎、若野政光

○東京都ろうあ者更生寮

板橋区社協、石沢春吉、久喜栄一、

作佐部広子、島信次、ジャパンレ

ディスボウリングクラブ須田加代

鈴木助成事業財団、但木瀧雄、竹

川幸、野の花会新田歳枝、長谷川

製本所、山下源治郎、若野政光

窓会梢会、世田谷区身体障害者福

祉協会、全国労働者共済生活協同組合連合会、千歳農協婦人部、弦巻縁進会代表佐藤睦夫、鶴田イサ、東急弘潤会、内藤千紗子、日化ゴム工業合資会社、日本放送協会中

○友愛荘

荒木薦達、生田華子、熊崎報恩財

団、佐藤タキ、佐藤カヤ子、菅野

昭正、岡師町老人クラブ寿会、せ

いよし宮松、玉川学園長小原哲郎、

高美台健康友の会、徳山宮子、徳山信博、根岸老友会、橋本好明、福島欽弥、本郷一俊、水野静江、木曜会、矢部八幡クラブ

10 · 7 第十回合同運動会(世田谷二施設)

11 · 13 野外訓練—長野県木曽竜(ろうあ更生寮)

11 · 23 昭和五十九年度第二回役員会

30 · 31 一泊旅行—箱根(友愛ホーム)

11 · 15 文化祭(友愛荘)

12 · 2 演劇祭(ろうあ更生寮)

11 · 1 開園記念式典(友愛荘)

25 · 1 文化祭(世田谷三施設)

25 · 1 身体障害者ボウリング大会(更生館・友愛園)

21 · 19 昭和五十九年度第二回役員会

21 · 14 合同クリスマス会(友愛荘)

21 · 14 年末懇親パーティー(更生館・友愛園)

21 · 16 新年祝賀の集い(友愛ホーム)

21 · 16 クリスマス会(友愛ホーム)

21 · 16 卓球大会(ろうあ更生寮)

21 · 20 ボウリング大会(ろうあ更生寮)

21 · 28 (3 · 3) スキー教室(更生館・友愛園)

3 · 1 · 3 ひな祭り(友愛荘・友愛ホーム)

3 · 1 · 3 耳の日記念行事参加(ろうあ更生寮)

20 · 22 彼岸法要(友愛荘・友愛ホーム)

29 昭和五十九年度第四回役員会

ア花王、松本千鶴子、増田勇、
やじま、山室浩、若葉会

○東京都ろうあ者更生寮

日本リーバ、川上眞一、東京都善
意銀行

○友愛莊

石田潮四郎商店、キリンビール、
サワズカンパニー、島田良男、渋
谷区福祉事務所、城北技建、鈴木
宏子(法音寺)、専壳公社、総合み
のり会、相武ヤクルト、田中信三、
民野稔、辻省三、旭寿会築地腎作、
東京ライオンズクラブ、東京関東
ライオンズクラブ、東京都共同募
金会、東京都食肉環境衛生同業組
合、東京都麵類協同組合、東京都
社協、東京都善意銀行、ニベヤ花
三、葵井、波之、丁口魚商業組合、

ライオンスクレア、東京都共同募
金会、東京都食肉環境衛生同業組
合、東京都麵類協同組合、東京都
社協、東京都善意銀行、ニベヤ花
王、藤井小夜子、町田魚商業組合、
山本きえ、四ツ葉会

(慰問奉仕)

青葉学園、ガールスカウト東京91
団、砧教会、シオン教会、東京都
中華料理環境衛生同業組合世田谷

○友愛莊

中華組合、平岡会、宮島様と学生、
読売光と愛の事業団、若葉会

櫻美林幼稚園、川崎市立菅中学校
相模原芸能舞踊愛好会、サークル
東雲、空手道場宗風館、図師老人
クラブ寿会、総合みのり会、高見
台健康友の会、明泉学園鶴川高等
学校、天理教武藏府中分教会北多
摩東部支部婦人会、東京紀尾井町
ライオンズクラブ、東京関東ライ
オンズクラブ、ふるさと渋谷少年
社会参加推進委員会、町田ときわ
保育園、木曜会

卷之三

時以来今日まで多大のご支援を賜わっておりましたハワイ支部の村重恵、三浦想一郎のお二方が昨年秋に、また、同じく須田松子女史（初代ハワイ支部長須田文吉氏夫人）が去る五月二十五日に逝去されました。謹しんでご冥福をお祈り申し上げます。



ゆ
う
あ
い

○ 読み易く、親しめる紙面をめざしてますが、編集関係者一同、根が堅いのか、今一歩だと思います。なお一層努力します。

○ そこで「頭の体操」を一つ。

「青」の信号で、青虫が渡りました。「黄色」の信号では、黄色い毛虫が渡りました。では「赤」の信号の時には何の虫が渡つたでしょう。

答は次号で。

(山崎輝久記)

昭和六年六月三十日 発行
発行 社会福祉法人友愛十字会
発行人 草原国司

下 157 東京都世田谷区砧 三丁目九番十一号

